

絵とやきもので

暑中お見舞い

コレクション展

# 涼風献上

## Cool and Breezy

Summer Greetings through Paintings and Ceramics

盛夏の季節、涼のイメージを喚起させる絵画や工芸の作品約30点を展示する「涼風献上」展を開催いたします。

絵画で「涼」を感じさせるものには、たとえば風の表現があります。「柳燕図」は風を切つて飛ぶ燕とそよぐ柳を描いています。ほかにも、翻る衣やなびく樹木、傘を体の前に傾けて懸命に進んでいく人物によって、画中に吹く風の強さや風向きを感じさせてくれます。また水辺に人物が配された作品には、舟を浮かべたり、漕を眺める人物に自らの姿を投影させて、水のある情景に心を遊ばせ、喧騒から離れた清涼な空間を感じることが出来ます。

一方、工芸作品では染付の青に代表される色彩による「涼」の演出が行われてきました。さらに形からも涼しさを想像させる、団扇形の「染付雪柴垣文団扇形皿」のように機知に富んだ作品もあります。そして暑さの中で待ち遠しい秋の到来は、薄や菊など秋の草花をモチーフとした作品で感じとっていただきたいと思えます。

「涼風献上」とは、夏の盛りの便りに使われてきた言葉です。絵とやきものによる根津美術館からの暑中お見舞いを、どうぞお楽しみください。



2014年

7月26日(土)

9月7日(日)

休館日 毎週月曜日

# 涼風献上



**重要文化財**  
**観瀑図**  
 芸阿弥筆 1幅  
 月翁周鏡ほか2僧賛  
 日本・室町時代  
 文明12年(1480)  
 根津美術館蔵

画面中央から勢いよく瀧が流れ、瀧壺には大きな水しぶきが上がる。画面手前に描かれた二人は、瀧の裏に茅屋を構える主人を訪ねてきたのであろう。画中の人物に自らを重ね、水のある情景に心を馳せて楽しむことができる。



染付雪柴垣文団扇形皿  
 肥前 1枚  
 日本・江戸時代  
 17世紀  
 山本正之氏寄贈  
 根津美術館蔵

風を送る団扇をかたどった、珍しい作品。染付けの青が涼しげだが、表面に柴垣に降り積もる雪を描き、暑い時期に使用するものに冬のモチーフを配し、さらに涼を感じさせる趣向である。



柳燕図  
 単庵智伝筆 1幅  
 日本・室町時代 16世紀  
 根津美術館蔵

風をきって飛び交う二羽の燕には、躍動感が感じられる。また風になびく柳の一部を描くことで、画面の外に広がる空間を暗示し、左方からさわやかに吹く風をも連想させる。



青花蓮池水禽文水甕  
 景德鎮窯 1口  
 中国・明時代  
 嘉靖年間  
 (1522-1566)  
 根津美術館蔵

水を入れるための大型の甕。側面には蓮花の株が四方に配され、その余白に水鳥や水草、虫などが施される。白磁の白さに濃青色の染付の文様が鮮やかに映える。



染付白鷺文皿  
 肥前 1枚  
 日本・江戸時代  
 17世紀  
 山本正之氏寄贈  
 根津美術館蔵

瑠璃地は水辺をあらわしているようで、色彩による涼しさが喚起される。二枚の蓮の葉は白地を残してほかし、三羽の白鷺も白地を塗り残して表現し、瑠璃地と白のコントラストが美しい。



## 同時開催

展示室2

### 「高麗・朝鮮時代の 仏画」

朝鮮半島では、存在感あふれる像容に精緻な装飾をまとう尊像画が制作されました。館蔵の仏画と装飾経約10件を展示いたします。



重要文化財  
あみだによらいぞう  
阿弥陀如来像 1幅 絹本着色  
朝鮮・高麗時代 大徳10年(1306)  
根津美術館蔵

堂々とした姿の阿弥陀がまとう衣には、驚くほど細やかな金泥文様が施される。宮廷画風の水準の高さを示す、高麗仏画の名品。



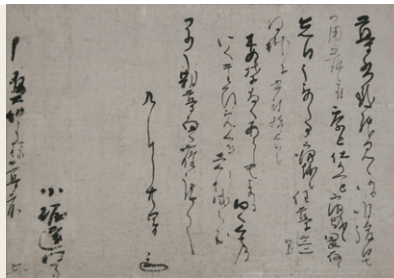
じぞうぼさつしよそんしゆうえず  
地藏菩薩諸尊集会図 1幅 絹本着色  
朝鮮・朝鮮時代 16世紀  
根津美術館蔵

朝鮮時代になると、地藏菩薩の画像に多数の菩薩が描き込まれる。赤や緑を基調とする色彩に、ほとけの穏やかな表情が映える作品。

展示室5

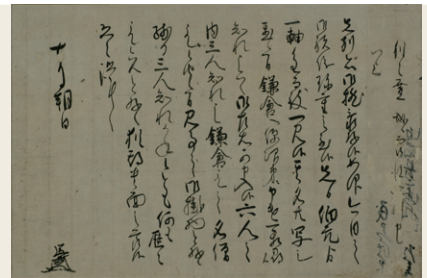
### 「手紙 —こころを伝える—」

皇族、僧侶、武将、茶人、連歌師などの手紙約20点を展示して、その書風や書かれた内容に表れた、筆者の人となりに触れていただきます。



こぼりえんしゆう  
小堀遠州の手紙 1幅 紙本墨書  
日本・江戸時代 17世紀  
根津美術館蔵

烏丸光広からの「明後日、用があるから来てほしい」という手紙に対する返事。承知の旨を知らせるとともに、請われていた和歌一首を書き添える。



はやしらざん  
林羅山の手紙 1幅 紙本墨書  
日本・江戸時代 17世紀  
根津美術館蔵

「披錦齋図」(根津美術館蔵)に賛を加えた6人の禅僧について、調査依頼を受けた羅山が、3名まで判明したと経過報告をした手紙。

展示室6

### 「夏の茶事」

盛夏の茶会は、暑い日中を避けて早朝や夕方に行われます。涼しげな茶道具や、お盆にちなんだ作品など、約20点の取り合わせ。



ひさごがたちかひれい くうや しん べえ  
瓢形茶入 銘空也 新兵衛作 瀬戸 1口  
日本・江戸時代 17世紀  
根津美術館蔵

瓢箪をかたどった愛らしい茶入。瓢箪を叩いて念仏踊りをしたと伝わる平安時代の僧・空也上人に因んで、この銘がつけられた。



せいじすかしぼりはずはなもんこうろ りゅうせんよう  
青磁透彫蓮花文香炉 龍泉窯 1口  
中国・元時代 14世紀  
根津美術館蔵

作品の下部は、蓮花と唐草文が透し彫りであらわされ、上部は灰を入れる器になっている。類例の少ない貴重な作品として知られる。

## 関連プログラム

講演会1 「高麗仏画の魅力 — 図像・技法・制作背景 —  
日時 8月2日(土) 午後2時 - 3時30分  
講師 鄭 于澤氏 (東国大学校大学院教授・同大学校博物館館長)

講演会2 「夏秋草図の美と歴史」  
日時 8月30日(土) 午後2時 - 3時30分  
講師 野口 剛 (根津美術館 学芸課長)

\*会場はいずれも根津美術館講堂 (定員各130名)

(申し込み方法) 往復葉書に、参加を希望される催事名(「講演会1」または「講演会2」と住所・氏名(返信面にも)・電話番号を明記の上、〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1根津美術館「涼風献上」展講演会係宛にお申込みください。

\*「講演会1」は7月19日(土)、「講演会2」は8月16日(土)締切(当日消印有効)

\*参加希望者1名1講演会につき、1枚の往復葉書でお申込みください。

ギャラリー トーク 日時 8月8日(金) 午前11時00分から約40分間 展示室1 (定員35名)  
8月15日(金) " " 展示室2 ( " )

\*事前申し込みは不要。午前10時より美術館受付にて整理券を配布いたします(お1人につき1枚)。ご希望の方はお申し出ください。(先着35名) 開始10分前に、整理券をお持ちのうえ、ホール階段下へお集まりください。

スライド レクチャー 「手紙 — 心を伝える —」  
日時 8月22日(金) 午後1時30分から約1時間 根津美術館 講堂 (先着130名)  
講師 松原 茂 (根津美術館 学芸部長)

## 開催概要

- 【展覧会名】 コレクション展「涼風献上 — 絵とやきもので暑中お見舞い —」
- 【主催】 根津美術館
- 【開催期間】 2014年 7月26日(土)～9月7日(日)
- 【開館時間】 午前10時～午後5時 [入館は午後4時30分まで]
- 【休館日】 毎週月曜日
- 【入館料】 一般1000円(800円) 学生800円(600円)  
\*( )内は20名以上の団体料金、中学生以下無料
- 【前売券】 一般900円 学生700円  
\*2014年5月31日(土)～7月13日(日)「カラフル — 中国・明清工芸の精華 —」展開催期間中、根津美術館ミュージアムショップにて販売
- 【アクセス】 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線(表参道) 駅下車  
A5出口(階段)より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレーター)より徒歩10分、B3出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分
- 【住所】 〒107-0062 東京都港区南青山 6-5-1
- 【お問い合わせ】 TEL 03-3400-2536 (代表)
- 【ホームページ】 <http://www.nezu-muse.or.jp> (日本語・English)
- 【携帯サイト】 <http://www.nezu-muse-app.jp> (日本語・English)  
\*携帯サイトは機種により閲覧できない画面があります。
- 【専用アプリ】 「App Store」・「Google play」から根津美術館を検索してダウンロード

## 次回展



新創開館5周年記念特別展

### 名画を切り、名器を継ぐ

2014年 9月20日(土)～11月3日(月・祝)

作品を改変することによって名品を伝えた、将軍や茶人たちの創造力にご注目ください。

井戸茶碗 銘古織割高台 朝鮮・朝鮮時代 16世紀 根津美術館蔵

【リリース・広報のお問い合わせ】

担当： 所、村岡、羽田 TEL:03-3400-2538 (直) FAX:03-3400-2436 MAIL:press@nezu-muse.or.jp